

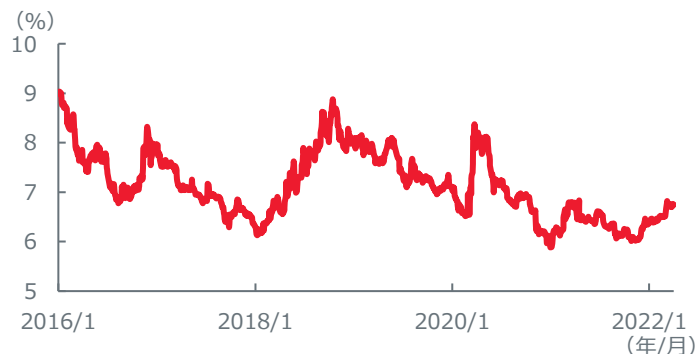
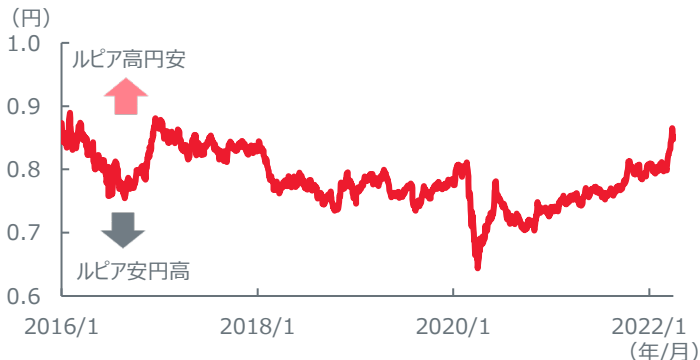
Indonesia Weekly

2022年4月4日

eastspring
investments

A Prudential plc (UK) company

(対象期間：2022/3/28～2022/4/1)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年4月1日)【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年4月1日)【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年4月1日)

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

【株式市場】

週初、大手銀行株や大手自動車関連株などがけん引する形でインドネシア株式市場は上昇しました。29日は小売関連株などが景気回復による売り上げ増への期待を背景に上昇した一方、商品価格の下落を受けて石炭関連株が反落となったほか、大手銀行株に利益確定売りが見られたことから株式市場は下落しました。週末にかけては外国人投資家から大型株を中心に資金流入があったことから続伸し、4月1日は終値ベースで史上最高値を更新しました。株式市場は前週末比上昇しました。

2022/3/25	2022/4/1	変化率
7,002.53	7,078.76	+1.09%

【債券市場】

週初の債券利回りは、29日の国債入札を前にしたポジション調整と、米国債利回りの上昇を受けて上昇（価格は下落）しました。29日の国債入札は応札額が41.6兆ルピアとなり、発行予定額20兆ルピアに対して堅調な需要が見られたものの、入札後の債券利回りは上昇しました。週末にかけては、外国人投資家による持続的な資金流出などを背景に上値の重い展開が続き、狭いレンジでの取引となりました。4月1日発表の3月の消費者物価指数（CPI）が前年同月比+2.6%と、2年ぶりの高水準となり、インドネシア中央銀行（BI）の金融引き締めが意識されました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/3/25	2022/4/1	変化幅
6.697	6.744	+0.047

【為替市場】

週の前半、株式市場への資金流入などを背景にルピアは堅調となりましたが、その後は週末発表の3月のCPIが大幅に上昇するのではとの観測から弱含みとなりました。CPIは前年同月比で+2.6%と、BIのインフレ目標範囲（2-4%）内でもどまっているものの、インフレ加速が広範囲に及び、コアインフレ率も2.0%から2.4%へと大幅上昇となりました。インフレ率の上昇が嫌気されたほか、米雇用統計の発表を前にして週末にかけて対米ドルで下落しました。ルピアは前週末比対米ドルでは下落、対円では上昇しました。

2022/3/25	2022/4/1	変化率
0.8485	0.8519	+0.40%